

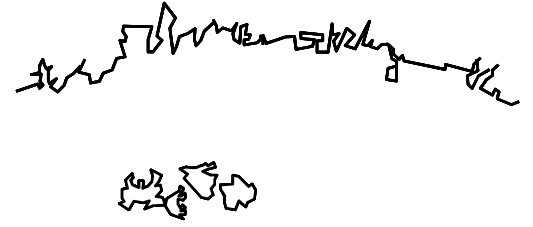
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 11号)

平成30年 1月26日発行
 兵庫のみ研究所

地先漁場は栄養塩の低い状況が続いています。また、沖合漁場において窒素は概ね $2 \mu\text{g at / L}$ と減少傾向になっており今後、ノリ葉体の色調に影響が見られることも予想されますので、その動向に注意し生産を行って下さい。

(**栄養塩、珪藻**) 岩見漁場以西の地先漁場で、小型のキートセロスがやや多く確認されているが、低栄養塩状況下にあるため色素は薄く細胞形態も崩れており活力は低い。一方、沖合漁場では珪藻がほとんど確認されないものの、窒素は $2 \mu\text{g at / L}$ と減少している。地先漁場への栄養塩供給がないことや、季節風による近隣海域からの低栄養海水が拡散したことによる影響と考えられる。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.4	0.7	2.0	1.5
	リン	0.36	0.30	0.22	0.29
家島・坊勢	窒素	3.9	2.3	2.5	2.0
	リン	0.53	0.50	0.43	0.41

(1/16) (1/27)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年 1月26日調査

